

＜株式会社エフエム東京 第368回放送番組審議会議事録＞

1. 開催年月日:平成22年5月11日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内0名)

◇出席委員(6名)

青池 慎一 委員長	横森 美奈子 副委員長
香山 リカ 委員	内館 牧子 委員
秋元 康 委員	西田 善太 委員

◇欠席委員(1名)

渡辺 貞夫 委員

4. 議題:

【番組名】「よ・み・き・か・せ」

【放送日時】ワイド番組「シナプス」内 毎週月～木 15:10～15:20放送

2010年4月 8日(木)放送分

2010年4月12日(月)放送分

【番組概要】

4月からスタートした午後のワイド番組「シナプス」(毎週月～木 13:00～16:00)のコーナー番組。情報溢れるインターネット社会において、欠如しがちな想像力を刺激することをコンセプトとしたこのワイド番組において、「よ・み・き・か・せ」は、親子で一緒に楽しく聴けて、子どもも大人も脳を働かせてイマジネーションの世界を味わえるラジオの時間を提案することを目的に編成しました。特に、就学前の子どもには、ラジオに原体験として触れてもらい、想像することの面白さを体験してもらおう機会にしたいと考えました。

番組では、一日一冊の現代の書き手による創作童話をピックアップ。俳優、アナウンサー、舞台俳優、劇団員、声優…など「音の表現者」たちが、ナレーターとして朗読をしています。子供が想像力を働かせやすいように、分かりやすい効果音をつけるなど、作品の世界に入りやすい演出をしています。

本日は、4月8日(木)に放送した「あさえとちいさいもうと」(ナレーター:早見優)と、4月12日(月)に放送した「ちよっとだけ」(ナレーター:落合美穂)をお聴きいただ

きます。パーソナリティはやまだひさしです。

< 試聴時間: 約20分 >

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見 / 「■」社側説明)

- 将来マルチメディア放送になって映像も流すとしたら、TOKYO FM が自分で絵本を作って番組をつくれればいい。既存のものでは権利的な問題も発生してくるだろう。毎日やっているうちにヒットも出てくるだろうし、TOKYO FM は絵本が得意というイメージもできる。その上で、マルチメディア放送で電子書籍的な展開も面白いかもしれない。
- こんなにエッジが効いていないものがあっていいのかと思った。今までのやまだひさしのイメージとあまりにもかけ離れてしまう部分があって違和感を覚えた。母と子だけが聴いているわけではないので、たまには、やまだひさしさんの個性を活かしたようなちがうジャンルのコンテンツを違うアプローチで取り上げることがあっていいのではないかと思った。
- 朗読はあちこちでやっているコンテンツ。キャスティングがいかにも。意外性が欲しい。こういう人をつかったか！と思わせたほうが聞き手の耳に刺さる。また、絵本も許可が出るところで、と選択肢を狭めてしまってはもったいない。それならオリジナルでやったほうがいい。時間帯は、平日の午後3時がベストなのだろうか。子どもから大人まで、幅広い層が聴ける日曜の午前中などに設定して、いろんな意味でよみかせられる番組にしてはどうか？ 可能性のある番組だと思った。
- ナレーターの力量が問われる番組。読み聞かせは、絵を見せながらすることが多いので、ラジオでやるのが面白いと思った。ただ、それだけにナレーターには、地の文と各登場人物のセリフを読み分ける技術が必要。「ちょっとだけ」はストーリーも良くできていたし、落合さんもうまかった。「あさえとちいさいもうと」はつつこみどころが満載。これは、ストーリーと誰が読むかが大切。ただ、リスナーを巻き込んでいろんなことができる可能性のある番組だと思った。絵本コンクールをやったり、リスナーから読み手を募ったり。色々な展開が考えられる。
- 子どもの頃に想像力を働かせながらラジオを聴いていた記憶があるので、確かにいい試みだと思う。地味になりがちな内容なので、やまだひさしさんの枠に編成し

たのだと思った。そういう意味では、意表をつくことを狙ってのことかと思って聴いていたので、思っていたよりもキャラの違和感は気にならなかった。それなりのキャラが出ていたし、共感する部分もあって良かった。ただ、BGが大きく内容が頭に入っていない部分があった。演出が過剰になると逆に想像力が働かなくなってしまうので、気をつけたほうが良いと思った。

○ 以前からやまだひさしさんの深夜の番組を聴いており、やさしい人だと思っていたので、彼の良さが出ているいい番組だと思った。ターゲットを就学前の子どもまで広げるのは面白い試み。小さいときからラジオに接触するチャンスを与えるのはいいこと。大人が聴いても面白いと思う。今後の発展を楽しみにしている。

○ 平日の15:10に編成したのはおやつの時間を意識したのか？

■ 生活時間帯のデータによるとこの時間帯は、キンダーの子どもたちを持つお母さんたちが、保育園のお迎えから戻ってきて、買い物に行く前の時間。ちょうどエアポケットになる時間帯で、親子で聴取するスタイルを提案するべく編成した。

○ 聴取習慣をつけるには、あまり人を変えないほうが良いと思った。何人か抱え込んで本気で取り組むと、いい蓄積ができると思う。ラジオドラマは少なくなっているので、自社制作でつくることは意味のあることだと思う。ぜひ若い才能にもチャンスを与えてほしい。

## 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

## 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

① 放 送: 番組「JOG LIS SUNDAY」

5月30日(日) 5:00~7:30 放送

② 書 面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

## 7. その他

次回審議会6月8日(火)に開催することを決めた。

以 上